

2019年度 船員教育機関と日本船主協会・内航海運業界との
人材確保・育成に関する懇談会について

当協会（九州地区船主会）と九州地区船員対策連絡協議会（会長：深水保廣 松島輸送船
株会長）は共催で、2019年7月5日（金）に福岡市において、人材確保・育成に関する懇
談会を開催した。当協会からは、鶴丸俊輔 九州地区船主会議長、田渕訓生 内航委員会委員
長、三木孝幸 同副委員長、宇佐美和里 企画部長が参加した。

同懇談会は、若年船員の確保・育成を目的として船員教育機関と内航海運業界との間で率
直な意見交換を行うもので、今年で開催で11回を数えるとともに、今次会合には60名を
超える参加があった。

会合では、各教育機関から卒業生の海上への就職や離職状況および船社に対する要望事
項等について、また、海運事業者から新卒船員の採用状況や採用に関する考え方等につい
て、夫々報告後、人材の確保・育成に関し活発な意見交換が行われた。加えて、九州運輸局
からは、内航船員の働き方改革および船員計画雇用等促進事業について報告がなされた。

今次会合においては、内航事業を継続するための最重要課題として船員確保が挙げら
れ、水産系高校や海上技術学校の卒業生のニーズが益々高まりをみせる一方、少子化によ
り陸上産業との人材確保競争が激しくなる中、官民学一体となって、船員の働き方改革や
船員教育機関の教員不足などの問題に一層取り組む必要があることが再認識された。ま
た、新たな論点として、499総トン以下の小型船を含む特定の船型・船種への乗船に対す
る船員志望者の正しい理解醸成を図っていく必要があることが確認された。さらに、本会
合を継続することによって、関係者の共通理解を維持することの重要性が改めて確認され
た。

参加者一覧

【教育機関】

水産系高校：

山口県立大津緑洋高等学校水産校舎、長崎県立長崎鶴洋高等学校、
熊本県立天草拓心高等学校マリン校舎、大分県立海洋科学高等学校、
宮崎県立宮崎海洋高等学校、鹿児島県立鹿児島水産高等学校、沖縄県立沖縄水産高等学校

海上技術学校：

国立唐津海上技術学校、国立口之津海上技術学校

【内航海運事業者】

日本船主協会

九州地区船主会：

鶴丸海運、日本サルヴェージ、宇部興産海運、ジェネック、豊鶴海運（鶴丸海運関係）

内航委員会・会員会社：

上野トランステック、近海郵船、国華産業、泉汽船（リベラ関係）、
二丈海運（NS ユナイテッド内航海運関係）、マリーンリンク（日鉄物流関係）

九州地区船員対策連絡協議会：

松島輸送船、霧島海運商会、旭海運、青崎海運、福正汽船、瀬戸内中央汽船

九州地方海運組合連合会：

霧島海運商会、丸阿産業、やまさ海運、久木山汽船、雄和海運、西瀧海運、エイワマリン、
隆永汽船、松盛汽船

【関係省庁等】

国土交通省九州運輸局、海事振興連盟・海洋立国懇話会



(左) 主催者挨拶を行う鶴丸 九州地区船主会議長



(右) 主催者挨拶を行う深水 九州地区船員対策連絡協議会会長



(左) 総括を行う三木 内航委員会副委員長



(右) 総括を行う阿部 九州地区船員対策連絡協議会副会長



会場の模様

以上